

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		元気館障害者デイサービスセンター				公表日		2026年 3月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		現在の利用児には適切である。	長期休みの時はスペースが足りない。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		利用児の特性によっては職員数が足りないと感じる時がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		バリアフリー化はされているが構造化ができていない。環境が適切ではない。もっとバーテーションで仕切る工夫ができると良い。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		整理整頓ができていない。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		宿題を個室で取り組めるようになっている。	個室はあるが他の利用者が使用していることがあり、常に使用できるわけではない。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	4		振り返りはできるが目標設定に広く職員が参画できるまでにはなっていない。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		アンケートや会議、送迎時に話を聞いている。				
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々の職員会議や月1回のケア会議で話し合いをしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価を実施しなかった。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		研修があれば参加したい。研修は実施しているが児童、放デイに特化した研修ではない。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		相談支援専門員のサービス等利用計画や事前の会議をもとに作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		共有不足を感じる。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		地域支援、地域連携の視点が不足している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	モニタリング後に関係する職員で検討した。	個別で活動することが多いためプログラムを立案しても実施できるか。集まった話ができにくい。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	工作など自由な発想で取り組みたり、それぞれ希望の活動が選択できるように支援した。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3	夏休みの行事では少人数ではあるが集団活動ができた。	1日の利用人数が少なく2～3人での活動になる。個別活動が多く、どのように集団活動が取り入れられるか課題である。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	朝の申し送りや連絡帳、学校からの申し送りでの確認はする。特性を共有して支援している。	事前の打ち合わせはできない。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	退勤時間が違うので記録し共有している。特記事項はその日のうちに対応を検討している。	記録はするが当日中の振り返りができない。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5						
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月ごとにモニタリングし個別支援計画に変更が無いか確認する。				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	3					
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5		児童が主体的に取り組めるような活動を用意し、自ら選んで活動している。	自己選択はできる環境だが、自己決定する力を育てる支援までできていないと感じる。			

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		相談支援専門員を中心に連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		迎えに行った際に情緒面や排泄の状況など申し送りしてもらう。	年間行事や代休、送迎時間の変更などは保護者から聞くことが多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		利用開始前に情報共有する。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		学校主導の移行支援会議や相談支援専門員のサービス利用前会議で情報共有する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		事業所として部会に参加しているが放デイの事業所としての参加ではない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や送迎時の報告で新しい発見など保護者に伝えている。課題についても情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用前の会議やモニタリング会議で確認する。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページで行事の様子をお知らせした。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3		マニュアルはあるが訓練はしていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		夏休み期間に児童が参加する避難訓練を実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用前に内服状況は情報共有する。内服の変更や体調はその都度、連絡帳を活用して確認する。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		家族への周知が不足している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		事業所として実施しているが、放課後等デイサービス利用児には該当児がいなかった。	